

エイチテック

上昇カーブの汚染調査業務

パートナー企業を構築

技術力も向上 売上高7.5倍に



インタビュー

エイチテック社長
岡田 宏氏

「中、エコプローブにはユーザーが集まる組織があり、話を聞ける場所があったのも心強かった」

「最初の04年度は、一六〇〇万円ほどだった。その後、エコプローブを導入した05年度が五〇〇万円、一期(同社)の決算額は六月、一期一〇〇〇万円を超える状況である。来季は土壌汚染調査だけで二億円を目標にする予定。08年度には四億円を目標とする。下請けだけでなく、お客さまも増えている。今、元請けの割合は二割に達している」

「現在、一月に約五件の調査を行っている。これは現在所有している三台を受けられる上限に達している。多い月には引き合いが六件を超え、お断りしなければならないケースも出てくる。受注高ではこの四月は過去最高。元請けを受注できるようになったのも大きな要因になっている」

エコプローブ3台で月15件の調査

「御社は二〇〇三年に土壌汚染対策法に基づき指定調査機関の指定を受け、その後順調に実績を上げていくが、その経緯は」

「指定調査機関の指定を受けた後、〇四年十月一日に土壌汚染調査業務に本格的に参入すること公表した。これは、同日、土壌汚染に関する項目を盛り込む広島県の環境確保条例が施行された日に合わせたもので、同時に旧社名の平和地下開発から現社名に変更。環境事業部を立ち上げ、これまでの地質調査業から環境調査業務に転換することを内外に発信した」

「環境事業部の発足から約一年は、広島県内や近隣の中国地方での営業に注力。宅建業関係の方々を招き、土壌汚染のセミナーを開催するなど、営業面での業務を展開した。その後、連携できる関係企業も構築している」

「なかなか成果が出ない日々が続いたが、機械式掘削ボーリングを用いた地質サンプリング技術を中核とする地質汚染調査の研究を中核に入会したことなどをきっかけに、関東地方での仕事量の多さを実感。同業他社にも営業し、徐々に仕事を進められるようになっていった。月に二、三件の見積もり依頼が各方面から来たが、深度調査では、専用の機械がないと仕事ができないことから、土壌汚染調査用の掘削機導入を検討することになった。その中で選んだのが、エコプローブ(東亜利根ボーリング社)だった。〇五年九月に二台機を購入したが、エ

信頼性高い掘削機導入

「宅建業者との連携で調査業務を増やす努力を進める一方、パートナー企業の構築にも取り組むのはなぜか」

「仕事の引き合いが多過ぎ、弊社だけでこなせなくなってきたことがきっかけだ。弊社はエコプローブ三台を三班体制で動かしているが、更に今夏にも四台目の導入を検討しているが、今ある六〇

地元案件掘り起こす



「現在、弊社では自社の三台のエコプローブ企業二台の合計五台の機械が稼働できる体制になっている。今月末にももう一台が稼働を終え、体制は広がっている。今後九州にも広げたいと考えている。近い将来、九州にもパートナー企業が増える見通しになっている」

揺るがない自信

「企業ノウハウを開示するのは怖い一面もあると思うが、役員、株主にも指摘されることであるが、今の時代、一人で生き残れる時代ではない。弊社がパートナー企業の下請けにな

能力高い社員揃う



パートナー研修は4カ月にも及ぶ。座学も含めて徹底する

「御社が受けた調査業務をパートナーに任せられるケースもあると思うが、顧客の反応は」

「パートナー企業を現場に派遣することにしている。お客さまに直接聞くことには、お客さまと同等のレベルで調査業務を実施して頂きたいので、パートナー企業には三、四カ月の研修を行い、ノウハウを学んでもらうことにしている。また、お客様の指定も多いので、エコプローブを購入して頂くこともパートナー契約する条件にさせて頂いている」

「今後の活動方針は」

「鳥取、島根、岡山の三県でパートナー企業を作った。先ほども少し触れたが、近い将来には九州にもパートナーを作る予定だ。更に、大阪にもパートナーを作りたいと思っている。パートナー企業の中に浄化修復を始めても大丈夫と思う企業もある。弊社は、マイクロプローブを使った浄化技術の実証を行っているが、こうした技術を使って浄化修復作業を行っていることも考えている」

「また、パートナーの中には、建築業者もあり、土壌汚染対策を通じて、建物の建築まで受注することが可能だとも思っている」

「対策後の土地の売買も視野に入れ、土壌汚染調査からその土地をいかに活用するかの事業計画を立ててお客様に提案できるようなサービスが提供できるようになりたい」(おかた ひろし)

エコプローブが環境に優しいラインナップでリニューアル!

従来のEP-26型に、狭小部や屋内でも高品質なサンプリングが可能なEP-10型が加わり、さらに多様な現場環境に対応できるようになりました。

POINT

- 微弱振動への選択をすることで、軟弱地盤の高精度サンプリングを実現 (EP-26、EP-10標準装備)
- 低速回転と高速・静音パイロの組み合わせによる豊富な掘削バリエーションが選択できます
- 無水の高速サンプリングが試料の発熱を抑え、その品質を保証します
- スイッチ式によるオペレーションで、安全で確実な作業が可能です(対応 EP-26)
- 油圧作動油には万一の事故に備え、生分解性植物油を採用しています



エコプローブ EP-10



エコプローブ

無水式土壌・地下水調査機



エコプローブ EP-26

東亜利根ボーリング

http://www.toa-tone.jp/

■本社：〒106-0032 東京都港区六本木7-3-7
営業本部 TEL (03) 5775-3939 FAX (03) 5775-3967
■塩山工場：〒404-0047 山梨県甲州市塩山三日市場1900-1
TEL (0553) 20-2600 FAX (0553) 20-2660